

大台町地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）案の

パブリックコメント結果について

1 趣旨

地球温暖化を要因とする気候変動により、近年自然災害が多発しており、人々の生活や生態系に大きな影響を及ぼしています。

本町は、この危機的状況を受けて、令和 3 年 4 月、2050 年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す「三重広域6町ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。そしてこの度、宣言の実現に向けて、温室効果ガス排出量の削減を図るための施策や再生可能エネルギーの導入目標などを定める「大台町地球温暖化対策実行計画」（以下、計画という）を策定することとなりました。

この計画策定にあたり、令和 7 年 1 月 21 日から 2 月 10 日まで、町民の皆さまからのご意見を募集しました。

その結果、1 名の方からご意見をいただきましたので、お寄せいただいたご意見の内容及び大台町の考え方を次のとおり公表します。

2 意見の総数 1 名 8 件

3 町の考え方区分と件数

区 分	項 目	件 数
ア	計画（案）等に意見を反映するもの	6
イ	計画（案）等に既に記載のあるもの	1
ウ	今後のために参考とするもの	1
エ	その他（質問など）	0

4 各意見の概要及び町の考え

番号	意見の概要	計画(案)内で該当する箇所	大台町の考え	考え方区分
1	地域でアウトドア環境を活用した観光業に従事しています。地域外から人を呼んでいる観光事業者の立場としての意見とご理解ください。 ・大台町には年間 40 万人以上の来訪者があるとされています。地球温暖化対策、地球・大台町の環境を守る取組に来訪者・観光客に向けた構想や施策も必要であると考え以下、意見です。(P72 地域循環共生圏のモデルに人・モノ・資金の循環チャートに関係交流人口・エコツアーリズムなどの記載) ・温室効果ガス排出量削減及び吸収に関する施策(2) P93 施策 No. 23 町民の生活とまちの賑わいを支え、将来に渡る持続可能な公共交通の構築・主体に「来訪者・観光客」(公共交通機関を積極的に利用しましょう)も加える	計画 P93 施策 No. 23	来訪者・観光客に対する公共交通機関の利用については、現在も観光情報などで周知しております。公共交通を利用いただくことで、排出量の削減につながるため、来訪者・観光客に対して引き続き利用の促進を図ってまいります。計画 P93 施策 No.23 の概要の来訪者の表記を統一し、主体の役割の欄に「町民・来訪者・観光客」と追記します。	ア
2	P97 施策 No. 28 事業者、町民への環境教育等 ・主体に「来訪者・観光客」(地域社会における環境保全の重要性を理解し、節度ある利用に努めましょう。)を加える。	計画 P97 施策 No. 28	来訪者・観光客も含め、地域社会における環境保全を意識し理解していただくことは重要であると考えますので、計画 P97 施策 No. 28 の概要と各主体の役割に追記します。	ア

3	以下、新たな施策の提案。 【環境負荷を低減した持続可能な観光の振興】概要 ・町民および来訪者・観光客にユネスコエコパークに認定された大台町の自然の価値を認知できるようなブランディングに取り組む。	計画P97 施策 No. 28	ユネスコエコパークに認定された大台町の自然の価値を町民および来訪者に認知してもらうためのブランディングについては、まず、町民や事業者が率先して、ユネスコエコパークへの理解や知識を持つことが必要と考えます。町民や事業者に対して行う環境教育を通じ、豊かな自然環境と、自然と共生するモデル地域に住んでいる誇りの醸成を目指すとともに、大台町の環境的価値の高さを啓発していきます。以上を踏まえ、計画P97 施策 No.28 の概要に追記します。	ア
4.5	・来訪者・観光客に公共交通機関や E-bike/自転車の利用、地元の食材や資源を積極的にする地産地消を促す。	計画P93 施策 No. 23 計画P99 施策 No. 30	来訪者・観光客に対し、公共交通機関や E-Bike/自転車の利用を促進することは、脱炭素社会実現に向け、有効な取組と考えます。ご意見を基に、計画P93 施策 No.23 の大台町の役割に追記します。 また、地元の食材や資源を積極的に活用する地産地消の推進については、デコ活アクションの一つであり、現在の計画P99 施策 No.30 に掲載しています。	アイ
6	・自然環境を利用したツーリズムにおいては、法規制やローカルルール、フィールドの現状・利用状況を把握し計画・行動する。	計画P97 施策 No. 28	自然環境を利用したツーリズムにおいて、法規制や環境配慮など計画的かつ責任ある行動は、ご意見のとおり重要と考えます。計画P97 施策 No.28 の各主体の役割に追記します。	ア
7	・特定の地域に観光客が集中するのを避け、地域の魅力を多様化することで、観光客を分散させる。	計画P97 施策 No. 28	観光客の集中を避けるため、観光客を分散させることは、オーバーツーリズムの観点では重要だと考えます。計画P97 施策 No.28 の各主体の役割に追記します。	ア
8	<上記を明瞭に実行するために、観光事業者や来訪者への「環境保全協力金」など仕組みづくりが必要だと考えています>		ご意見いただきました「環境保全協力金」等仕組みづくりについては、「大台町観光振興計画」に定められています。基本目標として「地域の資源を守り、活かす観光の推進」を掲げ、その取組方策として、「環境維持協力金制度」の確立に向けての検討が進められています。	ウ